

イザヤ書  
聖徒伝 168

# 「心を主の 御許に置こう」

イザヤ書23～24章 フェニキアの裁き 大患難

# 聖書の学びの 基本の 「き」



あれれ？ 理解がちがう!! ということに

## 聖書の学び 優先順位 by三浦

- ① 聖書の文脈 …聖書から聖書を解き明かす。大原則。基本の「き」。
- ② 文化・地理・歴史の背景 …現代の日本とは大きな隔たりがある。
- ③ 言語 …言葉の限界。ギリシャ語聖書は、ヘブル語の概念の翻訳。  
現代ヘブル語は、近代に回復された言語。  
→結局、聖書以上はたどれない。辞書も一つの解釈。  
コンコルダンスは重要!! 訳文の比較も有効!!
- ④ 伝承など …聖書が採用する場合(例・ヤンネとヤンブレ II テモ3:8)  
をのぞき、正しいかどうか、判断がつかない。

## 食い違うところをどう考える？

■ヘブル的視点で終末観も共通。でも細部に**違いが生じる**ことが。

例) イザヤ22:25「杭は抜かれた」

→ シェブナのこと(フルクテンバウム師)

→ エルヤキムのこと(中川師)

① 文脈からは、どちらとも読める。

…エルヤキムのこの後のことなど、聖書にこれ以上の記述はない。

② フルクテンバウム師が、この箇所を根拠とする**ユダヤ的伝承**は、参考以上のものにはならない。→ 神の靈感による保証はない!!

**どちらが正しいか？ 分からない!!**

## 押さえておこう、三つの原則

- ① 同じ神学的立場でも、細部で違いが生じる場合はある。
- ② 聖書に明確に記されていないことは、断言できない。
- ③ 救いに関する**重大な教理**がずれているのでなければ、認め合う謙遜さをお互いに持とう。

# 鹿追教会の聖書の学びで大事にしていること

- ①とにかく文脈 …大事なことは繰り返し書かれてる!!
- ②「木を見て森を見ず」にならないように!!  
細部にこだわって、**大きな流れ**を見失わないように。
- ③具体的な適用を!!  
…自分自身の変化と成長がなければ、学びは無意味。

# アウトライン

## 0. イントロダクション

I. フェニキアへの裁き 23章

II. 大患難・神の王国 24章

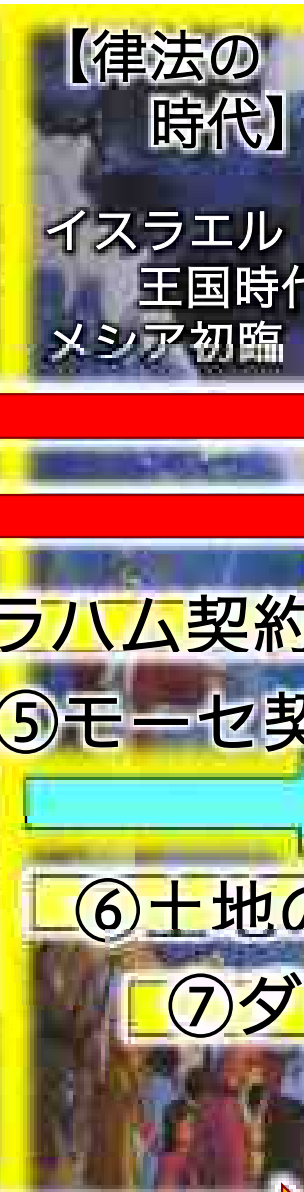
## III. まとめと適用

天に宝を積もう

心を主の御許に置こう



フェニキアの船



【無垢の時代】

天地創造

【良心の時代】

墮罪  
~大洪水

【人類統治の時代】

バベルの塔事件

【約束の時代】

アブラハム  
~ヤコブ

【律法の時代】

イスラエル  
王国時代  
メシア初臨

【恵みの時代】

聖霊降臨  
世界宣教  
メシア再臨

【御国の時代】

千年王国  
大審判  
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

神の約束こそが  
その時代の守り

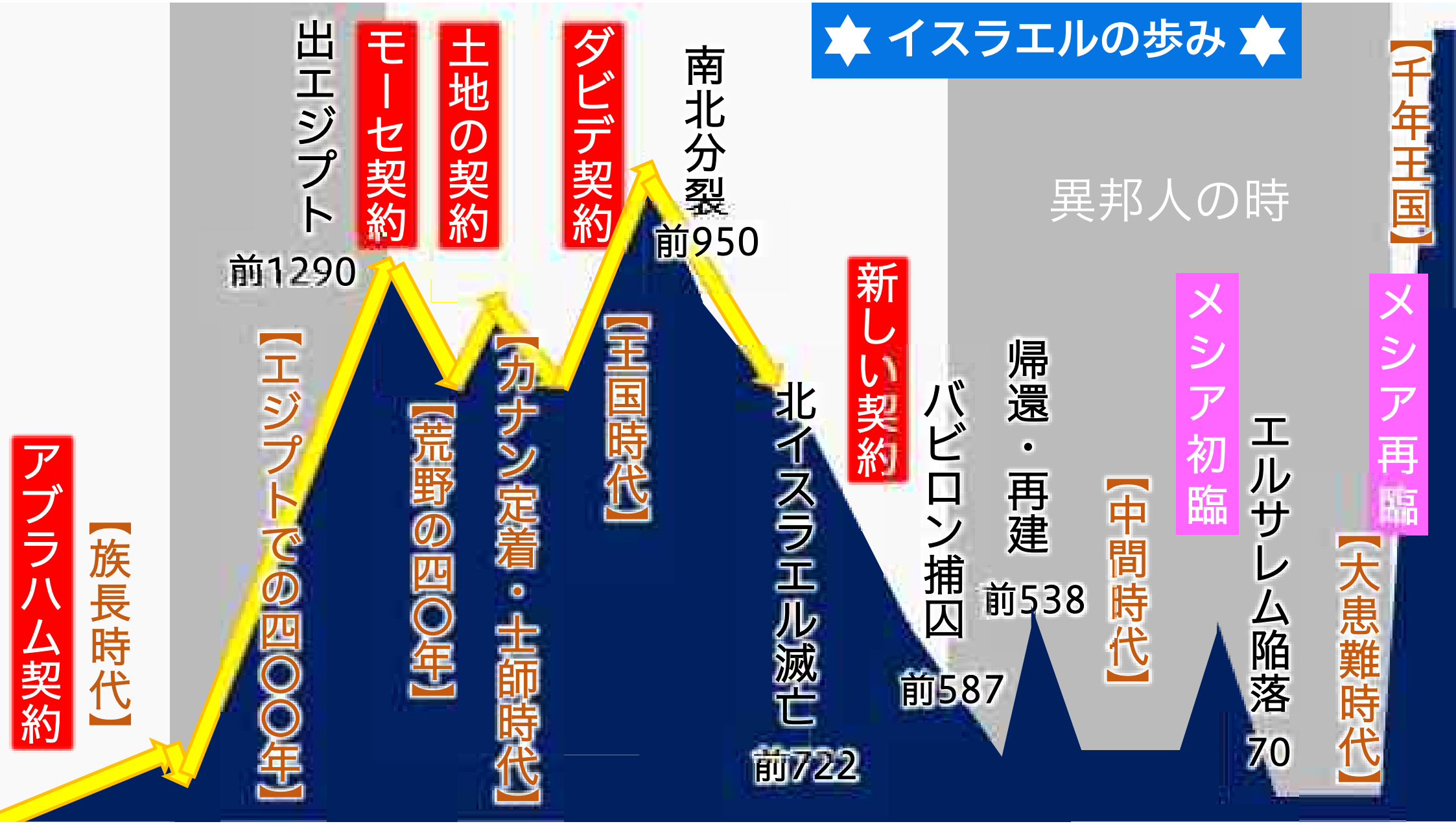
過去

現在

未来



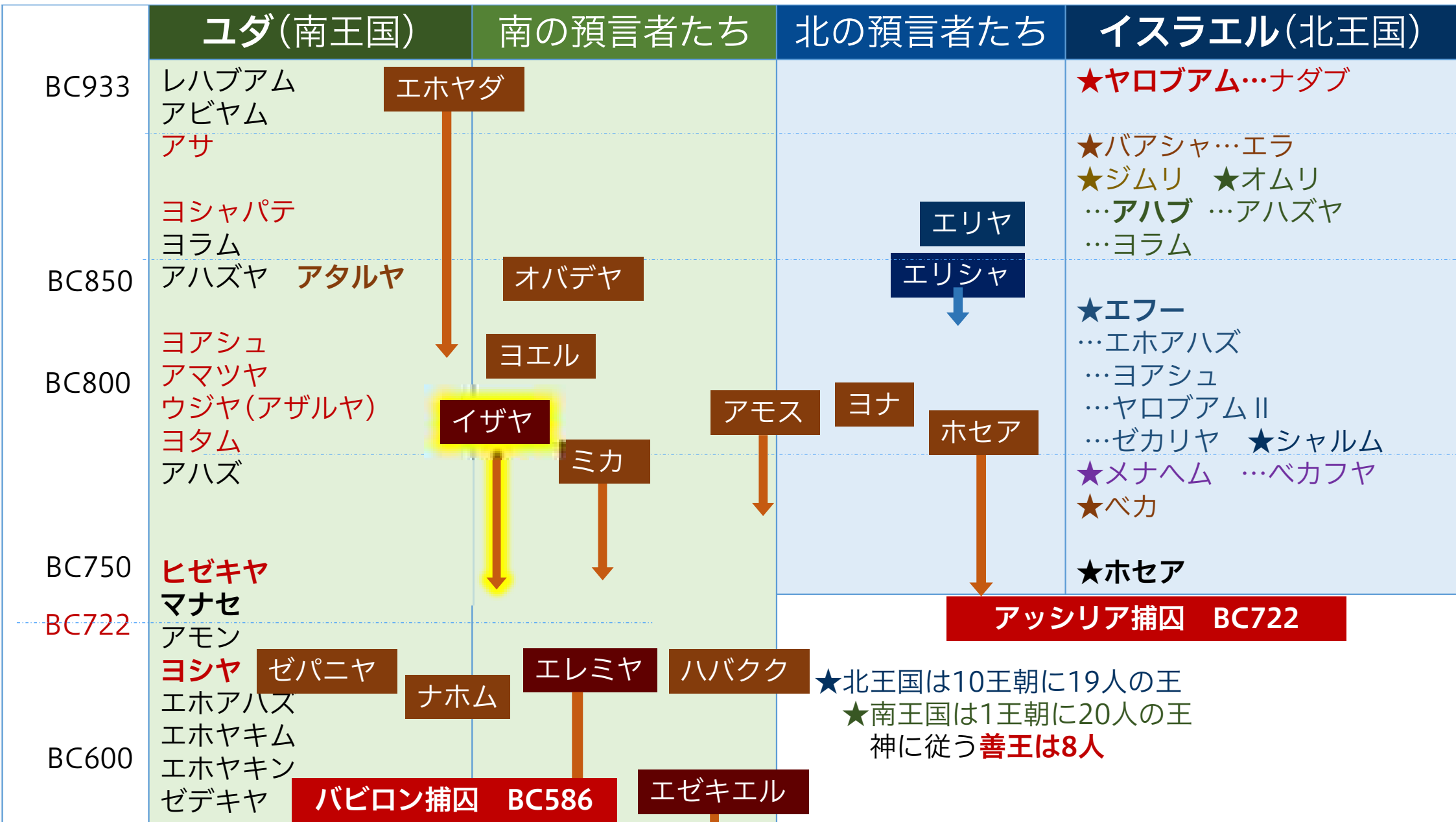
★ イスラエルの歩み ★



## 預言者イザヤとは？

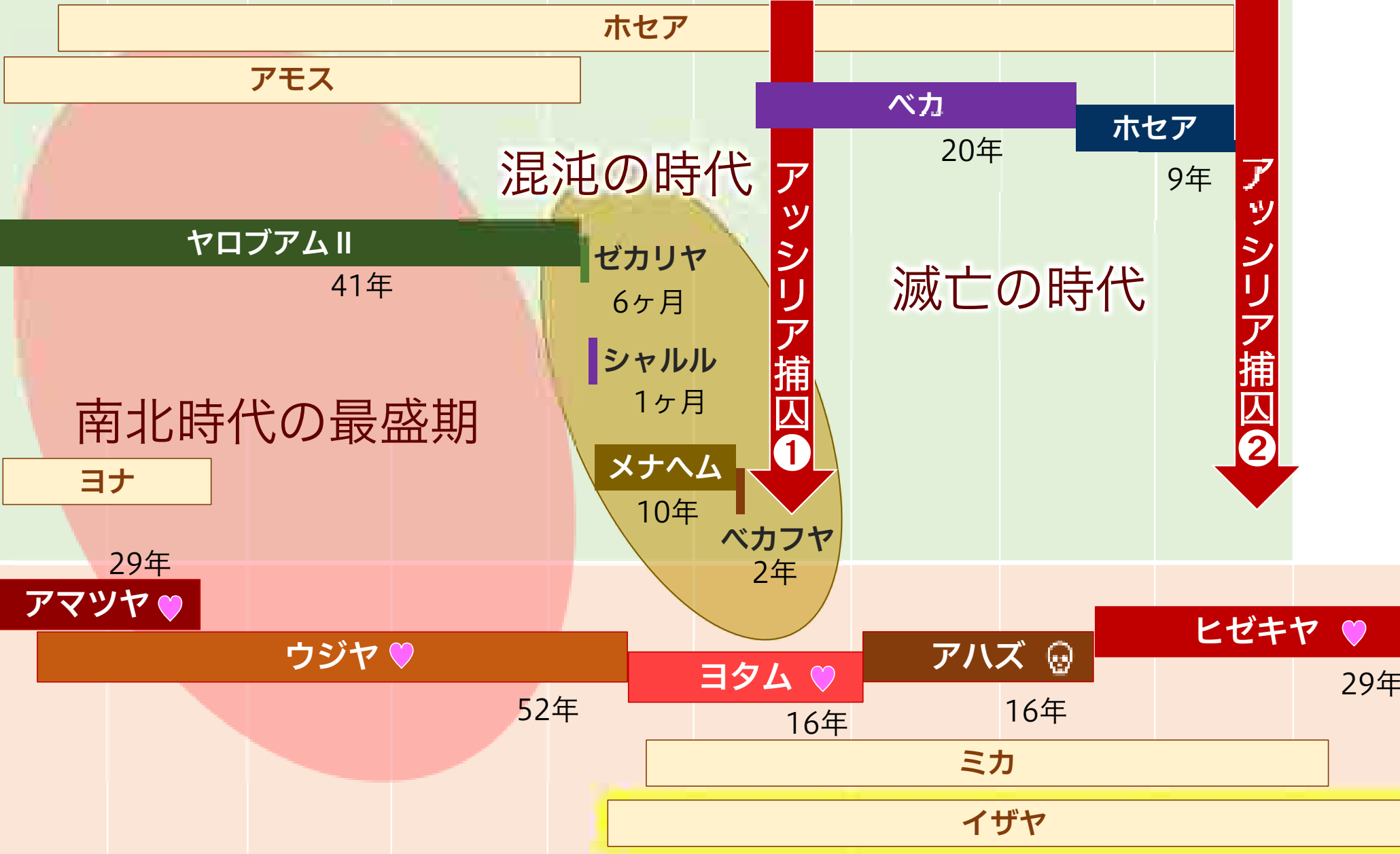
- イザヤ = “ヤハウエは救い”
- エルサレムの都で活動。
- 60年に渡り、4人の王に仕えた。  
ウジヤ → ヨタム → アハズ → ヒゼキヤの時代。
- 遣わされたのは、拒まれる前提の過酷な試練。  
「行って、この民に告げよ。『聞き続けよ。だが悟るな。見続けよ。だが知るな』と。イザヤ6:9」





北王国イスラエル

南王国ユダ



混沌の時代

滅亡の時代

南北時代の最盛期

アッシリア捕囚 ①

アッシリア捕囚 ②

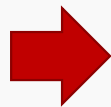
【預言者視点で見る預言書は、こんな感じ？ 実際は？】



諸国民(異邦人)の裁きも経路は同じ



南北時代



① 直近の  
苦難

メシア初臨



② 主の日  
大患難時代

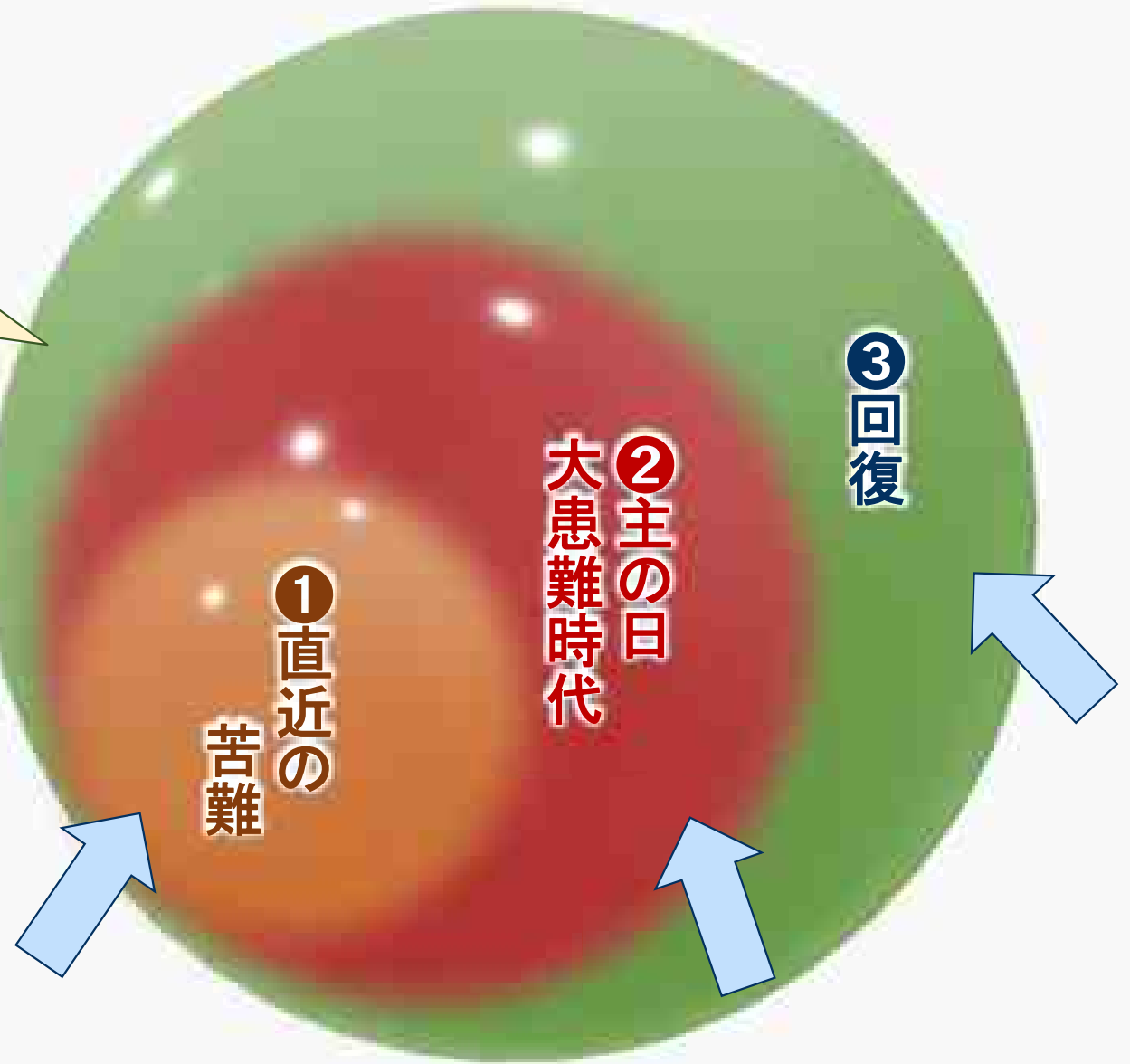


③ 回復  
メシア再臨

## 3Dで預言を捕らえる

シームレスな  
かたまりとして  
とらえよう

見る角度で  
違う時代が  
浮き上がる





# Ⅰ. フェニキアへの裁き

イザヤ書23章

ペルシャに朝貢するフェニキア人



## フェニキアとは？

- イスラエルの北、海岸部の海洋民族、国家。  
→ 古くから海洋貿易で栄えた、都市国家群。
- イスラエルとは、一時友好関係も。  
→ 神殿建築のためにレバノン杉を輸出。
- イゼベルの出身地。当時が最盛期。  
北アフリカのカルタゴに植民地を持った。
- カナンのバアル礼拝を継承。人身供養も。



# フェニキアとは？



アレクサンダー大王に征服される前のティルス(ツロ)

# フェニキアとは？

## 最盛期のフェニキア



## フェニキアの裁き ツロ イザヤ23:1

ツロ\*についての宣告。タルシシュ\*の船よ、泣き叫べ。ツロは荒らされて家もなく、そこには入れない。キティム\*の地から、それは彼らに示される。

\*ツロ(ティルス)

→ツロを代表とするフェニキアへの宣告

\*西方の海洋都市。タルソス(スペイン?)

\*キプロス島



## フェニキアの裁き シドン イザヤ23:2～3

海辺の住民よ、黙れ。海を渡るシドンの商人はおまえを富ませた。大海原で、シホル\*の穀物、ナイルの刈り入れがおまえの収穫となり、おまえは諸国の商いの場となった。

\*ナイルの支流の一つ？

■ エジプトとともに交易し、栄えていた。



## フェニキアの裁き 滅び イザヤ23:4~5

「シドンよ、恥を見よ」と海が言う。海の砦\*がこう言っている。「私は産みの苦しみをせず、子を産まず、若い男を育てず、若い女を養ったこともない。\*」

このうわさがエジプトに達すると、人々はツ口のうわさを聞いて、激しくもだえる。

\*シドンは、海岸に造られた城塞都市。

\*擬人法：街に見捨てられるシドンの住民

→シドンの街の滅びの宣告



後代のフェニキアの遺跡

## フェニキアの裁き イザヤ23:6~7

海辺の住民よ、タルシシュへ渡って、泣き叫べ。これが、おまえたちが誇りとした町なのか。その起こりは古く、人々はその足で遠くに行って移り住んだのに。

\*都市を滅ぼされ、遠方に逃れる  
古くからの海洋民族フェニキア。



再現されたフェニキアの船

## フェニキアの裁き 没落 イザヤ23:8~9

だれが、王冠を戴くツロに対してこれを図ったのか。その商人は君主たちで、その貿易商は地で最も尊ばれていた\*のに。

万軍の【主】がそれを図り\*、すべての麗しい誇りを汚して、地で最も尊ばれている者をみな卑しめられた。

\*地中海沿岸各地と貿易し、エジプトのカルタゴなど海外に植民市を造るほどに繁栄。

\*神による裁きが下された。



フェニキア文字



## フェニキアの裁き 壊滅 イザヤ23:10~11

娘タルシシュ\*よ、ナイル川のように自分の国にあふれよ。もうこれを制する者はいない。

主は御手を海の上に伸ばし、王国を震わせた。

【主】はカナン\*について命令を下し、その砦を滅ぼし尽くした。

\*海洋国家のライバル、タルシシュが台頭?!

\*フェニキアのおもなルーツが、カナン

➔バアル礼拝も継承していた。

イゼベルは、北王国に持ち込んだ。



フェニキア・海洋都市の遺跡

## フェニキアの裁き 虐げ イザヤ23:12~13

そして言われた。「もう二度と喜び躍るな。虐げられたおとめ、娘シドンよ、立ってキティム\*に渡れ。そこでも、おまえは休めない。」

見よ、カルデア人\*の地を。この民はもはや存在しない。アッシリア人がこれを荒野の獣のものとして定めた。彼らは、自分の見張りやぐらを立て、宮殿をかすめて、そこを廃墟とした。

\*対岸のキプロス島

\*メソポタミアの民。バビロンも含む。

アッシリア人がメソポタミア全体を支配。



ツロの遺跡

## フェニキアの裁き 忘却 イザヤ23:14~15

タルシシュの船よ\*、泣き叫べ。おまえたちの  
砦が荒らされたからだ。

その日になると、ツロは七十年の間忘れられる  
\*。一人の王の生涯ほどの期間である。七十年が  
終わると、ツロは遊女の歌のように\*なる。

\*タルシシュの港、埠頭もあった?!

\*ツロは、アッシリアがバビロンを包囲した年  
(BC710)に滅ぼされた。

\*復興後、帝国の支配下で再び貿易が盛んに。



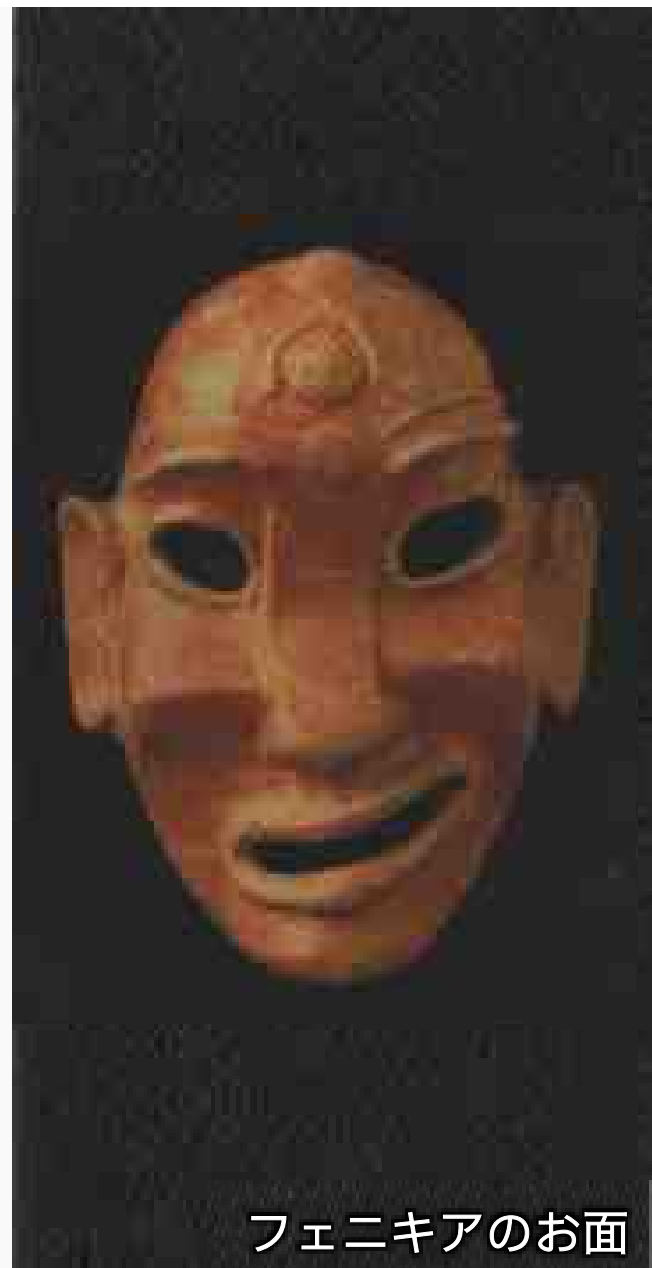
フェニキアの陶器

## フェニキアの裁き 淫行 イザヤ23:16~17

「豎琴を取り、町を巡れ、忘れられた遊女よ。うまく弾け、もっと歌え。思い出してもらうために。」

七十年の終わりに、【主】はツロを顧みられる。彼女は再び遊女の報酬\*を得て、地のすべての王国と、地の面で淫行\*を行う。

\*復興後、アッシリア、バビロニア、ペルシャと、歴代の帝国の支配下で貿易で栄えたが…。  
→神に対する反逆。滅びに向かっていく。



フェニキアのお面

## フェニキアの裁き 神の所有に イザヤ23:18

その儲け、遊女の報酬は、【主】の聖なるものとなる。それは蓄えられず、積み立てられない。その儲けは、【主】の前に住む者たち\*が食べて満ち足り、上等の衣服を着るためのものとなるからだ。

### \*神の民イスラエル

■フェニキアも、アブラハムに約束された土地の一部。

➔イスラエルがメシア的王国で所有!!



フェニキア・ガラス



### Ⅲ. 大患難・神の王国

イザヤ書24章

再臨のイエス像・ポーランド

## 世界の裁き 混沌の極み イザヤ24:1~2

見よ。【主】は地を荒れ果てさせ、その面をくつがえして\*、住民を散らされる。

民は祭司と等しくなり、男奴隷はその主人と、女奴隷はその女主人と、買い手は売り手と、貸し手は借り手と、債権者は債務者と等しくなる。

\*全世界を襲う、空前絶後の天変地異

→世の終わり、大患難時代の裁き

■富者も貧者も、逃れる者は一人もない。

混沌が示す、世の終わりの究極の裁き。



## 世界の裁き 衰れ果てて イザヤ24:3~4

地はすっかり荒れ果て、すべてかすめ奪われる\*。【主】がこのことばを語られたから\*である。

地は嘆き悲しみ、衰える。世界はしおれ、衰える。地の最も高貴な人たちもしおれる。

\*神の裁きとは、恵みが取り去られること。

\*神の言葉が世界を創造し、世界を裁く。

■ 不信仰者も、神の恵みの内にある。

➔ 恵みを失えば、すべて廃れ果てる。





## ユダの裁き 神の民の罪 イザヤ24:5～6

地はその住民の下で汚されている。彼らが律法を犯して定めを変え、永遠の契約を破った\*からである。

それゆえ、のろいは地を食い尽くし、その地の住民は罰を受ける。それゆえ、地の住民は減り、わずかな者だけが残される\*。

\*大患難は、第一にイスラエルへの裁き

→神の民を回心に導く懲らしめの時

\*生き残った1/3のイスラエルが

民族的回心に至る。



## ユダの裁き 民の悲嘆 イザヤ24:7~8

新しいぶどう酒\*は嘆き悲しみ、ぶどうの木\*はしおれ、心に喜びのある者もみな、うめく。陽気なタンバリンの音はやみ、はしゃぐ者たちの騒ぎも消え、陽気な豎琴の音もやむ。

\*イスラエルに神が与える恵みの象徴

➔ここでは大患難時代に救われる信者？

\*イスラエルの象徴



## ユダの裁き 荒れた都 イザヤ24:9～10

歌いながらぶどう酒を飲むこともなく、強い酒も、飲む者には苦い。

都は壊されて荒地となり、すべての家は閉ざされて入れない\*。

\*旅人を招き入れる者もない。

➔中東の民の矜持である筈だが…。

誰も旅人を招く心身の余裕がない。



## ユダの裁き 喪失 イザヤ24:11~12

街には、ぶどう酒\*はなく、哀れな叫び声がある。すべての喜びは薄れ、地の楽しみは取り去られる。

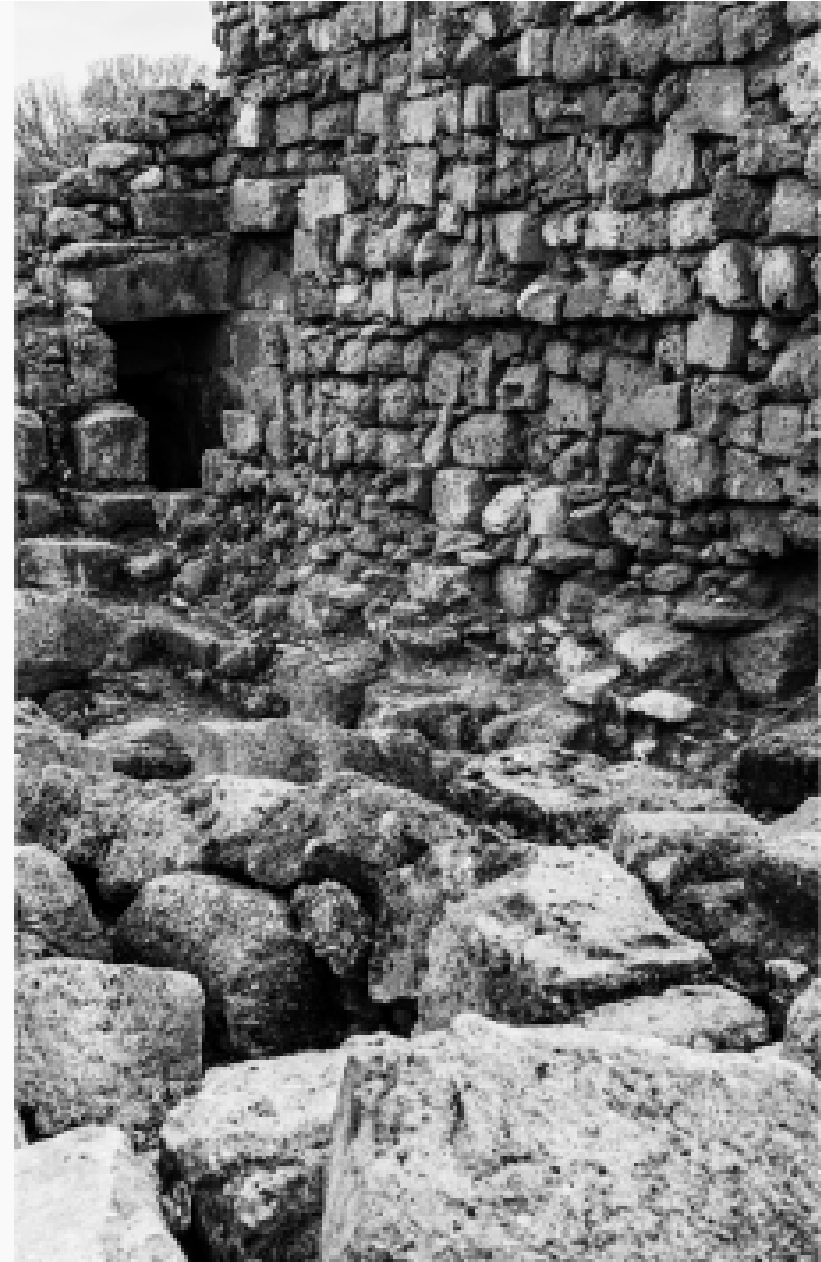
その都にはただ荒廃だけが残り、城門は打ち砕かれて荒れ果てる\*。

\*喜び、恵みの象徴でもある。

\*外敵から都を守る術もない。

門に統治機関が置かれていた。

→行政、司法、議会も機能停止。



## 残れる者への約束

イザヤ24:13

まことに、大地の真ん中で、諸国の民の間で、オリーブを打ち落とす\*ようなことが、ぶどうの収穫の後に取り残しの実\*を集めるようなことが起こる。

\*大患難時代に生き残る信仰者たち。

■生き残った1/3のイスラエルが、ナザレのイエスをメシアと信じる民族的回心に!!



## 残れる者への約束 イザヤ24:14~15

彼らは声をあげて喜び歌い、西の方から【主】の威光をたたえて叫ぶ。

それゆえ、東の国々で【主】をあがめよ。  
西の島々で、イスラエルの神、【主】の御名を。

- 離散していたイスラエルの信仰者が、再臨のメシアによって集められる。



## 大患難 究極の裏切り者 イザヤ24:16

地の果てから、私たちは、「正しい方に誉れあれ」というほめ歌を聞く。しかし私は言った。「私はだめだ、だめだ。ああ、悲しい\*。裏切り者\*が裏切った。裏切り者が裏切り、裏切った。」

\*「私は衰える。災いだ(口語・新共)」

➔患難のイスラエルを代弁する嘆きか。

■反キリスト\*がイスラエルとの条約を破棄。

➔ハルマゲドンに至る大迫害が!!



## 大患難 大災厄 イザヤ24:17~18

地上の住民よ。恐怖と落とし穴と罠があなたに臨む。

その恐怖の叫びから逃げる者は、その落とし穴に落ち、落とし穴から這い上がる者は、その罠に捕らえられる。天の窓が開かれ、地の基が震えるからだ。

- 大患難時代、三段階の大災厄により、全地の2/3が破壊され、全人類の2/3が絶命する。

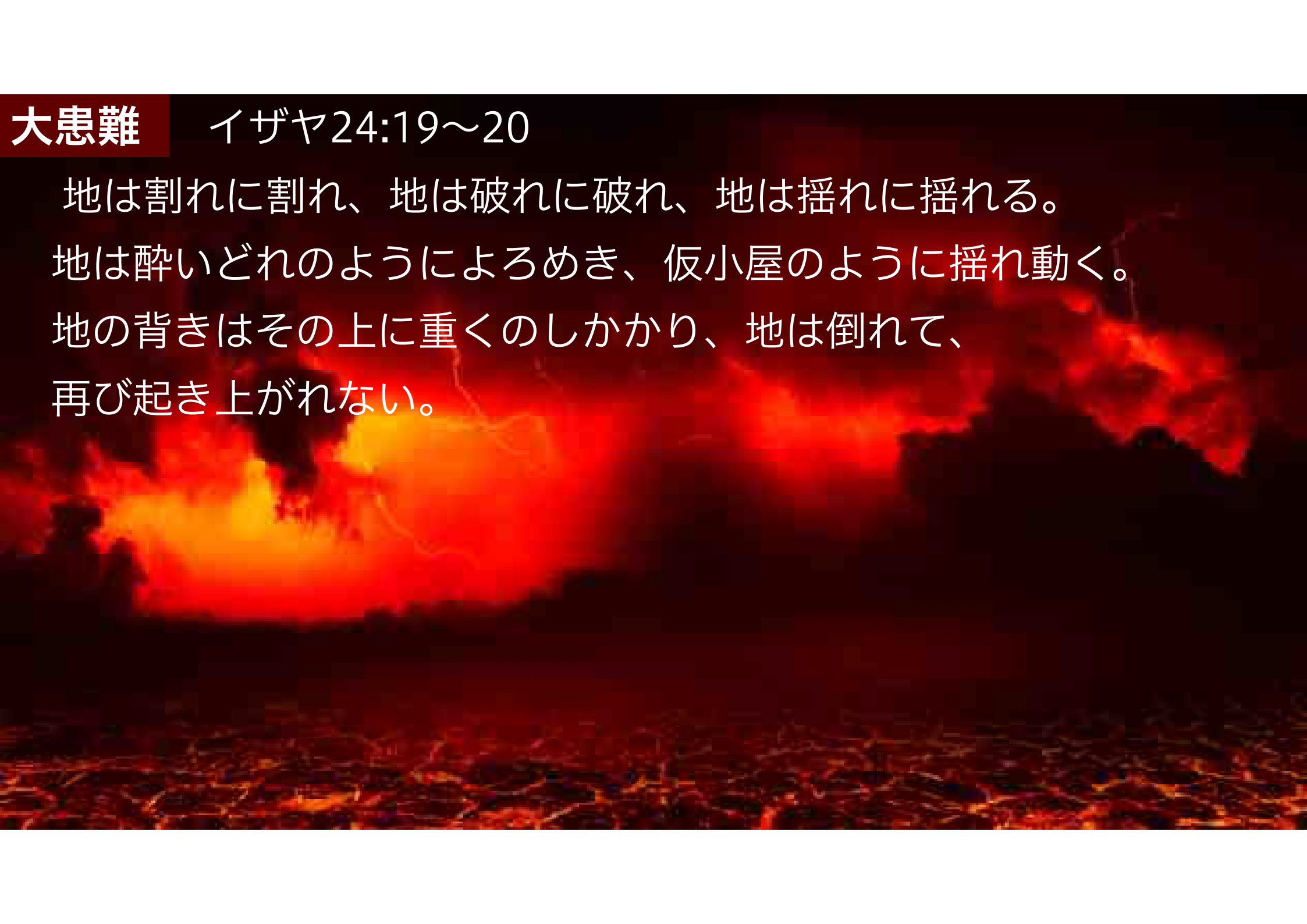




## 大患難

イザヤ24:19～20

地は割れに割れ、地は破れに破れ、地は揺れに揺れる。  
地は酔いどれのようによろめき、仮小屋のように揺れ動く。  
地の背きはその上に重くのしかかり、地は倒れて、  
再び起き上がれない。



## 大患難 サタンの裁き イザヤ24:21~22

その日、【主】は天では天の大軍\*を、地では地の王たち\*を罰せられる。

彼らは、囚人が地下牢に集められるように集められ、牢獄に閉じ込められ、何年かたった後に\*罰せられる。

\*空中の支配者・墮天使サタンの軍勢。

\*地上の反キリストが率いる大軍勢

■再臨のキリストが悪魔をよみに閉じ込め、千年後、白い御座で最終的な裁きを下す。



## メシア的王国 栄光の主 イザヤ24:23

月は辱めを受け、太陽も恥を見る。万軍の【主】がシオンの山、エルサレムで王となり、栄光がその長老たちの前にあるからである。

■メシアの栄光の前に、太陽も輝きを失う。

➔新天新地には、太陽も月もない。

メシアの栄光が全地を照らす。

■新天新地は、教会時代の奥義だが、

預言には、そのイメージも含まれている!!





Ⅲ. まとめと適用 天に宝を積もう 心を主の御許に置こう

ティルスの港

## フェニキアの歴史 繁栄から滅亡へ

- カナンのバアル礼拝を引き継ぎ、幼児の人身供養も頻繁だった。
- 貿易で栄えた全盛期に、シドンからアハブ王に嫁いだのがイゼベル。
- アッシリアに侵略され、独立を失うが、バビロニア、ペルシャと、帝国の支配下で経済的には繁栄した。 → “遊女の報酬”
- ギリシャのアレクサンダー大王によってティルス(ツロ)は滅亡。その後も植民都市カルタゴが繁栄するが、ローマによって滅亡。
- 歴史の舞台から、完全に姿を消した。

## フェニキアを反面教師に学ぶ

- ダビデと親交があったツロの王ヒラムをのぞいては、フェニキアは、偶像礼拝に浸り続けた。
- “遊女の報酬”とは、世の君・サタンとの取り引きの結果。歴史に名を残した繁栄も、今は廃墟が残るだけ。  
→ **世の富**に固執した者の末路は、喪失と滅び。
- 人類に衰退を免れなかった文明はない。世界遺産は滅びの痕跡。全民族、全人類の行く末にあるのは、裁きと滅び、それだけだ。

**世の富を追い求めた先にあるのは、滅びだけ**

## 主イエスの「ある金持ちのたとえ」に学ぶ

### ■ルカ福音書12:16~18

それからイエスは人々にたとえを話された。

「ある金持ちの畑が豊作であった。彼は心の中で考えた。  
『どうしよう。私の作物をしまっておく場所がない。』  
そして言った。

『どうしよう。私の倉を壊して、もっと大きいのを建て、  
私の穀物や財産はすべてそこにしまっておこう。』

## 主イエスの「ある金持ちのたとえ」に学ぶ

### ■ルカ福音書12:19~21

そして、自分のたましいにこう言おう。

「わがたましいよ、これから先何年分もいっぱい物がためられた。さあ休め。食べて、飲んで、楽しめ。」』

しかし、神は彼に言われた。

『愚か者、おまえのたましいは、今夜おまえから取り去られる。おまえが用意した物は、いったいだれのものになるのか。』  
自分のために蓄えても、神に対して富まない者はこのとおりです。』

**悠々自適な隠退生活のために貯め込んだ金持ちの末路**



## 「御国を求めなさい」

### ■ルカ福音書12:29～31

何を食べたらよいか、何を飲んだらよいかと、心配するのをやめ、  
気をもむのをやめなさい。

これらのものはすべて、この世の異邦人が切に求めているものです。  
これらのものがあなたがたに必要なことは、あなたがたの父が  
知っておられます。

むしろ、あなたがたは御国を求めなさい。  
そうすれば、これらのものはそれに加えて与えられます。

## 「天に宝を積みなさい」

### ■ルカ福音書12:32～34

小さな群れよ、恐れることはありません。あなたがたの父は、喜んであなたがたに御国を与えてくださるのです。

自分の財産を売って施しをしなさい。自分のために、天に、すり切れない財布を作り、尽きることのない宝を積みなさい。天では盗人が近寄ることも、虫が食い荒らすこともありません。

あなたがたの宝のあるところ、そこにあなたがたの心もあるのです。

## ★ 世界の裁きと滅び ★

- 心が世の富にあった、フェニキアの“遊女の報酬”は消え失せた。
- 「思いわずらうな」とは、主イエスの命令だ。  
神の国のために、富、労力、心を主にささげよう。
- 富を惜しむ者に、神を人を愛せるわけがない。  
その人の心は、地上の宝に囚われているのだから。
- キリスト者の自由を、主にささげることで満喫しよう。  
宝を天におくならば、御国の平安に、私は必ず満たされていく。

「<sup>てん</sup>天のお父<sup>とう</sup>さま。わたしは、あなたに<sup>そむ</sup>背き、<sup>つみ</sup>罪を<sup>かさ</sup>重ねてきました。  
<sup>ひび</sup>日々<sup>おか</sup>犯してしま<sup>つみ</sup>う罪をも<sup>こくはく</sup>告白します。この<sup>つみ</sup>罪をゆるしてください。

わたしは、<sup>かみ</sup>神のみ子<sup>こ</sup>イエス・キリストが、  
<sup>つみ</sup>あがな<sup>じゅうじか</sup>し

①わたしの<sup>つみ</sup>罪を<sup>あがな</sup>贖うために<sup>じゅうじか</sup>十字架で<sup>し</sup>死に、

<sup>はか</sup>はか<sup>ほうむ</sup>ほうむ

②<sup>みつかめ</sup>墓に<sup>ふっかつ</sup>葬られ、

<sup>しん</sup>三日目に<sup>しん</sup>復活した<sup>しん</sup>こと、を<sup>しん</sup>信じます。

③<sup>しんこう</sup>聖霊の<sup>しょういん</sup>証印が<sup>お</sup>押されました。私は、<sup>わたし</sup>永遠に<sup>えいえん</sup>主よ、あなた<sup>しゅ</sup>のものです。

<sup>わたし</sup>私は、<sup>わたし</sup>私の<sup>とみ</sup>富を<sup>てん</sup>天に<sup>つ</sup>こそ<sup>わたし</sup>積み<sup>わたし</sup>ます。私は、<sup>わたし</sup>私の<sup>わたし</sup>心を<sup>みもと</sup>御許にお<sup>わたし</sup>きます。

<sup>よ</sup>この<sup>おも</sup>世の<sup>わずら</sup>思い<sup>とみ</sup>煩い<sup>とら</sup>から、<sup>わたし</sup>富<sup>かいほう</sup>への<sup>わたし</sup>囚<sup>かいほう</sup>われ<sup>かいほう</sup>から、<sup>わたし</sup>私<sup>かいほう</sup>を<sup>かいほう</sup>解放<sup>かいほう</sup>してください。

<sup>しんこう</sup>この<sup>じゆう</sup>世の<sup>へいあん</sup>思い<sup>うち</sup>煩い<sup>ふくいん</sup>から、<sup>しょうにん</sup>富<sup>つか</sup>への<sup>つか</sup>囚<sup>つか</sup>われ<sup>つか</sup>から、<sup>つか</sup>私<sup>つか</sup>を<sup>つか</sup>解放<sup>つか</sup>してください。

<sup>しんこう</sup>信仰の<sup>じゆう</sup>自由と<sup>へいあん</sup>平安の<sup>うち</sup>内に、<sup>ふくいん</sup>福音の<sup>しょうにん</sup>証人として<sup>つか</sup>遣わしてください。

<sup>しゅ</sup>主<sup>な</sup>イエス・キリストの<sup>いの</sup>み名によって<sup>いの</sup>祈ります。アーメン」